

【お問い合わせ先】

キャタピラー

渉外・広報室

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1

TEL: 045-682-3576 FAX 045-682-3690

本資料はCaterpillar米国本社が2018年10月23日に発信したプレスリリースを日本語に翻訳し、みなさまのご参考に提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。

Caterpillar 2018 年 第 3 四半期業績を発表

売上増と力強い業績により過去最高の第3四半期1株当たり利益を達成

(単位：10億ドル、但し1株当たり利益除く)	第3四半期	
	2018	2017
売上高	\$13.5	\$11.4
1株当たり利益	\$2.88	\$1.77
調整後1株当たり利益	\$2.86	\$1.95

- 2018年第3四半期、売上高は18%増
- 1株当たり利益は、当社の第3四半期で過去最高
- 年金プランに10億ドル相当を拠出、7億5千万ドルの自社株買いを実施、5億1,100万ドルの配当金を支払
- 通年見通しの1株当たり利益は10.65～11.65ドルの幅、調整後1株当たり利益は11.00～12.00ドルの幅を維持

(イリノイ州ディアフィールド発) — Caterpillar Inc. (NYSE: CAT) は本日、2018年第3四半期業績を発表しました。売上高は135億ドルで前年同期(114億ドル)比18%増、1株当たり利益は2.88ドル(前年同期：1.77ドル)、事業再構築費用および繰延税金残高の調整に伴う正味の税額控除分を除く調整後1株当たり利益は2.86ドル(前年同期：1.95ドル)となりました。

今四半期、機械、エネルギー&トランスポーターション(ME&T)事業部門の営業キャッシュフローは8億4,800万ドルとなりました。この四半期は、年金への10億ドル相当の任意拠出、Caterpillar普通株の自社株買い7億5千万ドル相当の実施、配当金5億1,100万ドル相当の支払いなど、多額の資金を投じました。結果、今四半期末時点の全社現金残高は80億ドルとなりました。

CaterpillarのJim Umpleby(アンプレビー)CEOは、「今四半期の1株当たり利益は、当社の第3四半期で過去最高となりました。当社のグローバルチームは引き続き、並外れた実行力をもってお客様の成功に向けて集中的に取り組み、『利益ある成長』を実現する自社戦略を実行していく所存です」と述べました。

2018年見通し

当社の2018年見通しの1株当たり利益は、10.65～11.65ドルの幅です。調整後1株当たり利益については、11.00～12.00ドルの幅を維持しています。上記1株当たり利益には、今四半期に計上された9,500万ドル相当の正味の税額控除分が含まれています。また、調整後1株当

たり利益は、およそ 4 億ドル相当の事業再構築費用と上記税額控除分を除いたものとなっています。

大半のエンドマーケットの景況が改善を続ける中、受注・受注残ともに健全な状況が続いています。第 4 四半期においては、販売価格の変更、オペレーションの卓越性、コスト規律などが奏功し、関税を含む材料費や輸送費の高騰を補って余りあると思われま

なお、この見通しには、年金および OPEB (Other Postretirement Employee Benefits : 年金以外の退職後給付) プランの再評価に伴う時価評価損益、および米国税制改革に備えて 2017 年に計上された暫定引当金に対する一切の追加的変更は含まれていません。

以 上

キャタピラー社について :

建設機械の歴史は、1925 年にキャタピラー社と共に始まり、未来へ続きます。世界最大の建設機械メーカーであるだけでなく、エンジン・発電機などパワーシステムのリーディングサプライヤーでもあります。また、1963 年以来、キャタピラー社は、半世紀以上にわたって、日本に重要な拠点を構えています。特に、主力製品である油圧ショベルの開発・製造をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界へ発信しています。